

鳴海ヶ丘新聞

第4号

2016年3月



劇あそび発表会

2月21日豊明文化会館で「劇あそび発表会」を開催しました。各クラスごとの発表で、13作品の劇が上演されました。かちかちやま、ピノキオ、ごんぎつねなど…

年少組は、初めての発表会で、舞台に立つのが、嬉しい子、恥ずかしそうな子やおうちの方を見つけて手を振ってしまう子など、どの子も、とてもかわいらしかったです。

年中組、年長組になると、自分のセリフに感情をこめ、その表情までも場面に合わせる姿には、感動しました。演技を終えた子どもたちの顔はすっきり晴れ晴れとしていました。そして子どもを迎える保護者の方々のお顔は優しい笑顔。それは心温まる光景でした。



記念植樹



三月七日に青組の記念の木を植えました。「おきのなみ」と言う種類の樺です。各クラスの代表八名、若草会代表の皆様と先生方が土をかきました。園に青組さんの思い出が残り、花を見て青組さんを思い出すことでしょうか。



It's a
ECO
world

青組

静電気の実験…みんなの髪が大爆発！電気の力に驚き感動しましたね。「もったいない！」が合言葉。エコ当番が幼稚園中を見まわって電気のムダをみつけたよ。

黄組

ゴミの分別や減量についてみんなで学んで考えたね。「もったいないことはしないよ」という気持ちがいつの間にか芽生え、給食のときは苦手なものにもチャレンジ！そんなお友だちが増えました。

赤組

ポタッと水が落ちた時、すぐにかけつけ止めたり、蛇口の水量をお母さんの指の太さに微調整したり、みんなはホントに地球に優しいいい子です。

未来を育てる・つながる

今から20年前、ドイツに長期留学されていたオペラ歌手の方が、ドイツの環境意識の高さをお話されました。「エンジンをつけたままだと、アイドリングストップだ！と注意にきます。」「窓が汚い、洗たく物の干し方がだらしない。」と、町の中の景観として家を見ます。どの話も日本では考えられない厳しい話でした。しかし今、新車は停車とともにアイドリングストップし、急速にエコ意識が高まり電動自転車、マラソンブームとなり、日本人の清潔さ、かたづけ上手は世界のあこがれとなっています。

保護者の皆様には、今年、夏、冬休みエコチャレンジにご協力いただき、園内では若草会のロハス活動も本格始動し、エコの輪が広がりました。

まもなく新しい春ですが、今年度より若草会からの進級祝いとして「ちぎゅうのためにできる10のこと」という世界的なエコ絵本を贈ります。私たちの命がつづくことは、未来を守ること、つなげることとなります。幼児期から親子で家庭でエコファミリーを育て、つなげてください。未来の子どもたち、地球のために。

園長 岡田勝彦